令和７年７月

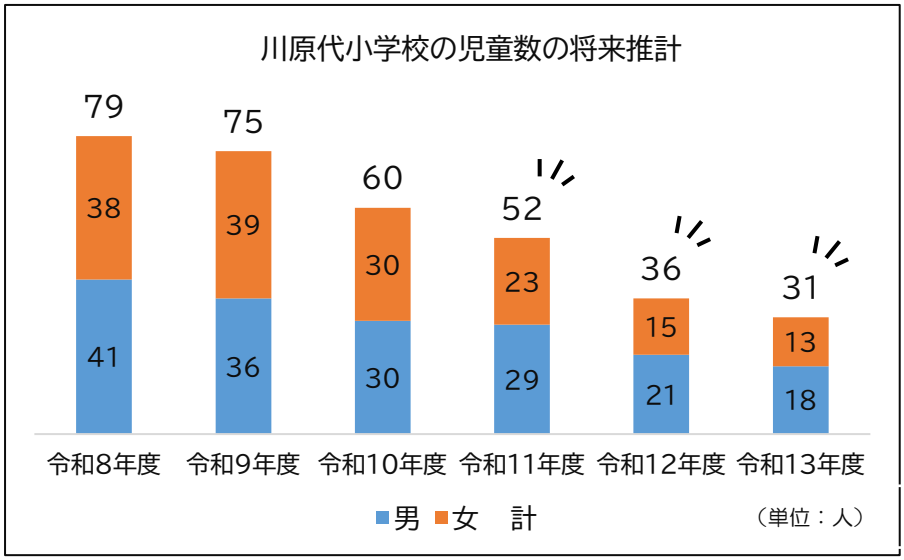
川原代小学校児童の保護者と龍ケ崎市教育委員会事務局との意見交換会のご報告

川原代小学校の教育環境について意見交換会を行いました

川原代小学校は児童数が減少しており、これからも減っていく見込みであることから、少子化に伴う児童の教育環境の現状や課題などについて説明を行うとともに、PTA 役員の方や地域団体の代表の方などと学校活動を活発にしていくための考えなどについて、平成２３年度から意見交換会を実施してきました。

今年は初めて保護者全員を対象に意見交換を行いました。７月４日（金）に実施した意見交換会について、保護者の皆様にお知らせします。

川原代小学校の児童数の将来推計



令和 11 年度以降は
「複式学級」が見込まれます

令和 12 年度以降には
複数の複式学級が見込まれます。

複式学級とは？

一般的に、１つの教室の中で１人の先生が２つの学年を交互に教えます。

【推計条件】
- 令和７年４月１日までの川原代小学区の出生者数を使用、学級種（通常の学級、特別支援学級）の区分は考慮しない。
- R8 以降の新入生について、きょうだいが在籍する場合は、きょうだい在籍校に入学するものとして試算
- きょうだいが在籍していない場合は、通学距離により川原代小と馴柴小に振り分けて試算

【問い合わせ先】龍ケ崎市教育委員会事務局教育総務課　TEL　0297-64-1111

小規模校のメリットとデメリット（例）

●メリット

・一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすい。

・意見や感想を発表できる機会が多くなる。様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。

・地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。

●デメリット（以下のような課題が生じる可能性があります）

・クラス替えができない。また、クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。

・男女比の偏りが生じやすい。また、体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。

・進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある。

主な質問やご意見

Ｑ１：統合する場合、議論を始めてから実際に統合に至るまで年月はどのくらいかかりますか。

Ａ１：通常３年かかります。過去の例を挙げますと、長戸小学校は４年、北文間小学校は３年、大宮小学校は２年かかりました。

Ｑ２：統合先の学校に慣れるための機会は何かありますか。

Ａ２：統合が決まった後、必ず統合先の学校と事前交流学習を行います。そのため、統合前には子ども同士が顔見知りになるように努めています。

Ｑ３：就学前の子どもがいます。川原代小学校が例えば馴柴小学校と統合することが決まった場合、入学時点から馴柴小学校を選択することはできますか。

Ａ３：手続きなども含めて正式に統合が決定した場合、新１年生は馴柴小学校入学を選ぶことができるようになります。

Ｑ４：保護者の意見をまとめるには、これまでどのような事例がありますか。

Ａ４：１つとしては、「ここの学校と何年度に統合してほしい」というような要望書をPTAから教育委員会に提出する方法があります。他には、保護者向けのアンケートを実施する方法です。例えば、「何年度に統合するのか」、「統合先はどこがいいのか」というアンケート調査を行い、保護者の皆様の意思がはっきりと示される方法もあります。

Ｑ５：複式学級を回避したい場合、統合に向けてそろそろ動き出さないと間に合いませんか。

Ａ５：統合するためには、統合準備会という組織を立ち上げ、川原代小学校保護者などの関係者と話し合いをしていかなければなりません。早ければ今年度、遅くても来年度から動き出さないと、複式学級回避に向けた統合をするには難しくなります。

川原代小学校児童の保護者を対象にアンケートを実施しています

今回の意見交換会では、保護者の皆様からの意見を伺う時間を十分確保することができなかったため、改めて意見を伺う機会として、川原代小学校児童の保護者を対象に「統合に関するアンケート」を令和７年７月９日～22日の期間で実施しています。集計結果は、後日改めてお知らせいたします。